



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3176 URL <http://www.sanyo-trading.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増本 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績 (平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	19,038	13.4	1,321	0.2	1,403	△4.8	919	2.2
29年9月期第1四半期	16,784	2.4	1,318	0.5	1,474	6.0	900	4.9

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 1,138百万円(△25.5%) 29年9月期第1四半期 1,528百万円(61.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	64.26	63.91
29年9月期第1四半期	62.91	62.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	41,781	25,254	58.5
29年9月期	38,987	24,600	61.1

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 24,453百万円 29年9月期 23,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	28.00	—	31.00	59.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	30.00	—	29.00	59.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,300	9.7	4,950	0.2	5,150	△2.3	3,310	△1.2	231.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社の経営計画及び業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年9月期1Q	14,503,854株	29年9月期	14,503,854株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	194,723株	29年9月期	194,646株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年9月期1Q	14,309,180株	29年9月期1Q	14,307,208株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善が続く中で個人消費にも持ち直しの動きが見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。海外においても、米国の金融・通商政策の動向や中国を始めとしたアジア新興国経済の下振れ懸念、中東・アジアの地政学的リスク等の懸念要因はありますが、総じて緩やかな回復基調にあります。

このような環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は19,038百万円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益は1,321百万円（前年同四半期比0.2%増）、経常利益は1,403百万円（前年同四半期比4.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は919百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①化成品

ゴム関連商品は、主力の自動車・家電・情報機器向けの合成ゴムや添加剤等の副資材が堅調に推移しました。化学品関連商品は、塗料・インク関連や電材の輸出は好調でしたが、香料や染料、フィルムの輸出が低迷しました。(株)ソートは、紫外線吸収剤等の販売増により売上高は増加しましたが、原料価格高騰等により利益は伸び悩みました。

この結果、化成品の売上高は7,173百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント利益（営業利益）は466百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

②機械資材

産業資材関連商品は、シート用部品等の自動車内装用部品の販売が引き続き好調で、売上・利益ともに前年実績を大幅に上回りました。機械・環境関連商品は、飼糧用設備が好調でしたが、バイオマス大型案件の検収が翌四半期にずれ込んだこと等により、減収・減益となりました。科学機器関連商品は、元素分析装置（金属判別器）や摩擦摩耗試験機、バイオ関連機器の納入が相次いで実現し、新規引合も活発で好調でした。

この結果、機械資材の売上高は6,231百万円（前年同四半期比19.9%増）、セグメント利益（営業利益）は754百万円（前年同四半期比26.8%増）となりました。

③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは吸水性ポリマー等の化学品が好調で売上高は増加しましたが、利益面ではほぼ横ばいとなりました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、ゴム関連や自動車部品関連が大きく伸長しましたが、販売費が大幅に増加したことにより、営業利益では前年同期比で大きく減少いたしました。San-Thap International Co., Ltd.（タイ）も、ゴムや自動車部品関連が好調に推移しました。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、塗料の大口案件を始め化学品関連が好調で業績を牽引しました。

この結果、海外現地法人の売上高は4,619百万円（前年同四半期比27.3%増）、セグメント利益（営業利益）は154百万円（前年同四半期比29.3%減）となりました。

④国内子会社

(株)ケムインターは、半導体関連商材や穿孔機器の販売が伸長し、好調でした。コスモス商事(株)は、特に地熱分野での機材販売・レンタル事業の低迷により、前年同期の実績を下回る結果となりました。

この結果、国内子会社の売上高は947百万円（前年同四半期比16.4%減）、セグメント利益（営業利益）は119百万円（前年同四半期比18.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、売上増に伴う売上債権の増加や商品及び製品の増加等により、前連結会計年度末比2,587百万円増加し、33,989百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の減価償却やのれんの償却による減少の一方、保有有価証券の時価上昇や非連結子会社株式の取得等により、前連結会計年度末比206百万円増加し、7,792百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は41,781百万円（前連結会計年度末比2,793百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、資金需要の高まりによる銀行借入金の増加等により、前連結会計年度末比2,083百万円増加し、14,959百万円となりました。

固定負債は、主に投資有価証券の評価差額計上に伴う繰延税金負債の増加により、前連結会計年度末比56百万円増加し、1,568百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は16,527百万円（前連結会計年度末比2,139百万円の増加）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によって株主資本が増加したことに加え、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加により、その他の包括利益累計額が増加しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における純資産は25,254百万円（前連結会計年度末比654百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月7日発表の通期の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,635,558	3,369,785
受取手形及び売掛金	15,902,728	17,510,441
電子記録債権	994,349	1,106,899
商品及び製品	10,456,067	10,782,790
仕掛品	5,589	15,553
原材料及び貯蔵品	2,935	2,703
その他	1,422,942	1,298,198
貸倒引当金	△18,876	△97,177
流動資産合計	31,401,296	33,989,194
固定資産		
有形固定資産	2,006,668	1,972,529
無形固定資産		
のれん	594,896	554,260
その他	588,932	590,711
無形固定資産合計	1,183,828	1,144,972
投資その他の資産		
投資有価証券	3,537,019	3,810,209
その他	890,809	925,161
貸倒引当金	△31,633	△60,146
投資その他の資産合計	4,396,195	4,675,224
固定資産合計	7,586,693	7,792,726
資産合計	38,987,989	41,781,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,175,312	8,318,433
短期借入金	1,555,593	3,230,002
未払法人税等	883,753	576,856
引当金	34,345	135,879
その他	2,226,701	2,698,342
流動負債合計	12,875,706	14,959,513
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付に係る負債	767,920	742,247
その他	644,234	726,006
固定負債合計	1,512,155	1,568,254
負債合計	14,387,861	16,527,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	426,143	426,143
利益剰余金	21,270,764	21,746,710
自己株式	△186,820	△187,037
株主資本合計	22,516,675	22,992,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,174,829	1,310,749
為替換算調整勘定	115,440	150,077
その他の包括利益累計額合計	1,290,270	1,460,826
新株予約権	64,123	64,123
非支配株主持分	729,058	736,798
純資産合計	24,600,127	25,254,152
負債純資産合計	38,987,989	41,781,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,784,338	19,038,011
売上原価	13,768,798	15,649,043
売上総利益	3,015,540	3,388,968
販売費及び一般管理費	1,697,447	2,067,622
営業利益	1,318,093	1,321,346
営業外収益		
受取利息	1,542	2,395
受取配当金	16,995	18,708
為替差益	137,386	51,171
その他	18,328	24,390
営業外収益合計	174,252	96,665
営業外費用		
支払利息	3,481	5,685
売上割引	3,155	3,522
その他	11,011	5,146
営業外費用合計	17,648	14,355
経常利益	1,474,697	1,403,656
特別利益		
原状回復負担金等収入	—	130,000
特別利益合計	—	130,000
税金等調整前四半期純利益	1,474,697	1,533,656
法人税等	548,426	575,327
四半期純利益	926,271	958,329
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,160	38,798
親会社株主に帰属する四半期純利益	900,110	919,531

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	926,271	958,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	330,105	136,098
為替換算調整勘定	271,737	44,195
その他の包括利益合計	601,842	180,294
四半期包括利益	1,528,113	1,138,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,462,218	1,090,087
非支配株主に係る四半期包括利益	65,894	48,536

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	国内 子会社	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	6,780,211	5,198,929	3,627,881	1,133,670	16,740,691	55,753	16,796,445	△12,106	16,784,338
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	752,422	55,196	296,794	2,192	1,106,604	8,321	1,114,925	△1,114,925	—
計	7,532,633	5,254,125	3,924,675	1,135,862	17,847,296	64,074	17,911,370	△1,127,031	16,784,338
セグメント 利益	469,051	594,946	218,103	145,621	1,427,723	43,345	1,471,068	△152,975	1,318,093

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額△12,106千円は、管理会計との為替調整額であります。

(2) セグメント利益の調整額△152,975千円には、のれん償却額△36,582千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△115,239千円、管理会計との為替調整額△5,158千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	国内 子会社	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,173,321	6,231,336	4,619,406	947,872	18,971,936	56,292	19,028,229	9,782	19,038,011
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	771,665	108,858	353,192	8,960	1,242,677	9,277	1,251,954	△1,251,954	—
計	7,944,987	6,340,195	4,972,598	956,833	20,214,613	65,569	20,280,183	△1,242,171	19,038,011
セグメント 利益	466,711	754,215	154,272	119,468	1,494,667	45,309	1,539,976	△218,630	1,321,346

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額9,782千円は、管理会計との為替調整額であります。

(2) セグメント利益の調整額△218,630千円には、のれん償却額△40,636千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△148,299千円、管理会計との為替調整額△24,163千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。